

## 区民意見内容と対応について

(電子申請)

	「第5期南区地域福祉保健計画(原案)」についてのご意見	対応
1	基本理念「区民の情が生きるまち」がとても素敵なお表現だと感じました。時代に応じて新たな問題が出てきますが、人と人のつながりの大切さは変わらないと思いました。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
2	誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域であって欲しいです。愛称は親しみやすくいいと思いました。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
3	調整大変だと思いますが、皆様の思いが良い形で結実することを願っています	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
4	読んでみたのですが、地域福祉計画だから保育園とか学童とかっていう括りは入ってこないのでしょうか。施設に通う子どもたちと地域のつながりや、子どもたちの福祉についても触れていただけると良いと思います。	ご意見を踏まえ、こども・子育てに関する内容を追記します(第1章の追記及びコラムの追加)。
5	地区のニーズもわかりやすく表現されているため、福祉保健活動をさらに推進していくことができる計画になっていると思います。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
6	地域活動をしている中で、「必要な人に必要な情報がどのくらい届いているのか」や「地域とのつながりを求めている人が多い」ことが気になっています。この計画はまんべんなく色々と考えられており、とても良いと思います。地域の一員としてできることはやっていきたいと考えております。この計画の成果に期待しています。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
7	3-1情報発信方法の工夫について。たとえば自治会町内会のDX化について、個人的には積極的に進めてほしいのですが、町内会長はじめ執行部がすでに高齢者でその意欲がないようです。9月に「自治会町内会向け デジタルツール展示・相談会」や防災関係の「自治会町内会担い手発掘・仲間づくり講座」があるようですが、町内会の7月定例会でその話は一切出ませんでした。はなからウチの町内には関係ないと思われるようです。せっかく市や区の方で計画してくださっても、末端に届かないことがあるのです！DXに関しては、できない・めんどくさい・むずかしい等と思われるので、横浜市で必要最低限の機能を備えた枠組を(たとえばLINEなど広く使われている媒体で)つくっていただいて、町会では参加・不参加をきめてポチッとするだけ、にさせていただけるといいなと思います。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。

	「第5期南区地域福祉保健計画(原案)」についてのご意見	対応
8	高齢者が多くなって 怪我する人が多くなっていることを実感している。仲間と体操・運動を通して 皆で健康づくりに励んでいきたい。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
9	良くできていると思います	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
10	保健計画から離れるかもしれませんが、外国人は確かに多いです。交流企画の前に、ゴミ出し、商店街の品出し、交通ルールなど しっかりマナーを守らせるよう区役所でも 指導お願いしたいです。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
11	いろいろな取り組みがあり、皆さん一生懸命に考えてくれていることが、わかりやすく説明されていると思います。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
12	多くの人が安心できるまちづくりに関心を持ってもらえるとよいと思います	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
13	第4期の取り組みやその評価がしっかりと反映されており、地区のニーズもわかりやすく表現されているため、福祉保健活動をさらに推進していく力強さを感じる計画になっていると思います。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。

(はがき)

14	子育て世代に特化した項目が増えたらもっと充実すると思いました。高齢化対策と同時に子どもの住みやすい地域になると良い地域になると思います。	ご意見を踏まえ、こども・子育てに関する内容を追記します(第1章の追記及びコラムの追加)。
15	情報がやはり分かりづらいです。それぞれの施設で情報を発信してくれても、見落とししたりするので、一覧になっていたたりカレンダーになっていたたりする方が分かりやすい。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
16	現状地域活動を行う人達は同じ顔ぶれ。次世代へつなげるための担い手の育成や地域活動参加者は必要。同じ人が続けながら次に、未来につながる取り組みを期待します。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
17	福祉というと高齢者を想像します。若い世代の企画を立ててほしい。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
18	原案通でよいです	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
19	下町情緒あふれる温かい雰囲気と活気ある商店街が魅力のエリア・・・親しみやすいあったかい街です。だから①あったかプラン・みなみを推します。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。

	「第5期南区地域福祉保健計画(原案)」についてのご意見	対応
20	自助・共助ばかりが増え公助が減少していくのに納得いきません。これは公助でやっていくという事はしっかり公助としてやってください。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
21	8ページの「子ども」の部分について、他の項目に比べ、根拠となるデータがあまり示されていないのではと感じられる。	ご意見を踏まえ、該当箇所について文言を修正します。
22	フレイルにならぬよう運動、地域活動に参加して頭を使う、心です。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
23	すばらしい原案だと思います。元気なうちはお手伝いさせていただきます	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
24	大変身近なわかりやすい計画案です。南区だけではなく、地域による違いはありますが高齢化、多国籍等の共通問題は他区と一緒に取り組んでもよいかと思えます。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
25	私の息子(51歳)は障害者手帳1級を所持し右半身不随・寝たきりで8050問題真っ最中です。今のところ医療・福祉サービスはほぼ限度いっぱいにご利用させていただいており、こうした福祉保健計画のおかげと感謝しています。何年後か、こちらの体が思うように動かなくなった時のことを考えると不安は限りなくありますが、今後の福祉保健計画のなかで「情報発信」について、このところ気になるのは行政やマスコミからの情報を見ない、もしくは意図的に無視する、また、歴史的事実を疑うといった人たちが一定数いることです。差別的発言も多いようです。こうした人たちへの情報発信をどう考えるのか、このような人たちが増えてきたときに計画に謳われているような福祉の水準が今後も維持されるのか、気がかりなところです。	ご意見を踏まえながら計画を推進していきます。
26	2-1多様性を理解し～を「理解・尊重し」に言葉を追加した方がよい	ご意見を踏まえ、該当箇所について文言を修正します。
27	あったかプランみなみ、副題としてみんなでみらいをつくる が良いかな？	計画策定の参考とさせていただきます。
28	”みなふくネット” み～んな 幸福にする ネットワーク	計画策定の参考とさせていただきます。

修正案(新旧対応表)

	原案	修正後	意見番号
<p>第1章</p> <p>1 はじめに</p>	<p>◆計画の背景</p> <p>今後、横浜市の人口は減少し、超高齢社会を迎えることが予測されています。また、既に一世帯あたり人員が縮小し、ひとり暮らし高齢者世帯が増加しています。</p> <p>その中には、「8050 問題※1」や、「ヤングケアラー※2」など、多分野にまたがる複雑化・複合化した生活課題、制度の狭間にある課題を抱える人の存在が顕在化しています。</p> <p>しかし近年では、家族や地域におけるつながりが徐々に希薄になる中で、様々な困りごとを抱える人が誰にも相談できずに孤立し、問題が深刻化してしまうことも少なくありません。</p> <p>(※1)80 歳代の親が、引きこもり状態等にある 50 歳代の子の生活を支えること。</p> <p>(※2)本来、大人が担うことが想定されている家族の介護や家事などを子どもが日常的に行うこと。</p>	<p>◆計画の背景</p> <p>今後、横浜市の人口は減少し、超高齢社会を迎えることが予測されています。既に一世帯あたり人員が縮小し、ひとり暮らし高齢者世帯が増加しています。また、<u>子どもの出生数が減少傾向にあります。</u></p> <p><u>こうした状況の中で、「8050 問題※1」「ヤングケアラー※2」「子育てニーズの多様化」</u>など、多分野にまたがる複雑化・複合化した生活課題、制度の狭間にある課題を抱える人の存在が顕在化しています。</p> <p>さらに、家族や地域におけるつながりが徐々に希薄になる中で、様々な困りごとを抱える人が誰にも相談できずに孤立し、問題が深刻化してしまうことも少なくありません。</p> <p>(※1)80 歳代の親が、引きこもり状態等にある 50 歳代の子の生活を支えること。</p> <p>(※2)本来、大人が担うことが想定されている家族の介護や家事などを子どもが日常的に行うこと。</p>	<p>4</p> <p>14</p>
<p>第2章</p> <p>1南区を取り巻く状況</p> <p>(2)区民の様子</p>	<p>ウ 子ども</p> <p>南区の出生数は令和元年は1,236人でしたが、令和6年は1,027人となっており、年度ごとの増減はありますが、全体的には減少傾向にあります。</p> <p>区内では、ひとり親家庭、外国につながる家庭、経済的困窮のある家庭など様々な事情により多くの家庭が支援を必要としています。また、子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験がないまま育児を行う親が多く、子どもを育てることのイメージが持ちにくい状況があります。</p>	<p>ウ 子ども</p> <p>南区の出生数は令和元年は1,236人でしたが、令和6年は1,027人となっており、年度ごとの増減はありますが、全体的には減少傾向にあります。</p> <p>区内では、ひとり親家庭※1、外国につながる家庭※2、経済的困窮のある家庭※3など、様々な事情により多くの家庭が支援を必要としています。</p> <p>(※1)子どものいる世帯のうちひとり親世帯が占める割合について、南区は市内で2位(令和2年国勢調査から算出)。</p>	<p>21</p>

	<p>区内の子どもたちが分け隔てなく、身近な地域の中で安心して過ごせ、悩みを話せる「場」を提供し、地域の方とともに子どもの成長を見守り・支える「子どもの居場所づくり」が広がっています。</p>	<p>(※2)区内の外国人児童・生徒数は、平成 27 年から令和6年までの10 年間で 2.60 倍に増加。特に令和4年から令和6年の3年間で、28.1%と急激に増加(出典:令和6年度市立学校現況)。 (※3)12 ページ「キ 生活保護」を参照。</p>	
第3章 区全体計画	2-1 多様性を理解し、交流する機会の創出	2-1 多様性を理解・ <u>尊重</u> し、交流する機会の創出	26